

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

第49回食生活アドバイザー®検定を受験いただく皆様

本ガイドラインは新型コロナウイルス感染予防対策として、受験者の皆さまに安心してご受験いただけるよう策定したものです。十分ご理解いただいた上で、ご受験をお願いします。

1、セルフチェックの実施

- ☐ 試験日当日の朝に検温し、37.5℃以上の発熱、咳やのどの痛み等の症状がある。
- ☐ 新型コロナウイルス感染症陽性と診断され、試験当日現在、療養期間中である。

※上記の内容に該当した場合、来場・受験はご遠慮ください。

2、マスクの着用

試験会場内でのマスクの着用については、ご自身の判断をお願いします。

※試験監督者、補助スタッフはマスク着用での対応となりますが、屋外や人との距離がとれている場合は適宜マスクを外す場合もございます。

3、手指消毒

試験会場内に設置してあります消毒液をご利用ください。

4、換気の実施

試験会場内では適宜換気や空気調節を行いますので、寒暖の調整がしやすい服装でお越しください。

換気に伴う音等の影響につきましては、あらかじめご了承ください。

5、会場における対策

○試験監督者や補助スタッフは試験当日の出勤前に検温し、体調に問題がないことを確認したうえで対応いたします。

○3級受験終了後から2級の受験者様が入室するまでに机の清掃を行います。併願受験で午後も同じ席を使用される方につきましては、個別にお声がけさせていただきます。

6、その他

○試験会場で来場時の検温はございません。ただし一部の会場においては建物入場時に検温のご協力をお願いする場合がございます。

○試験中、激しい咳や体調不良等の症状が見られる受験者様には、受験のお断り、座席の移動等をお願いすることがあります。